

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「2010年は”ヒョーバン消費”」
- 2) 「コンビニフードのプラスα」
- 3) 「ペットのオーガニックフード」

1) 「2010年は”ヒョーバン消費”」

通信販売大手の千趣会がまとめた「2010年の消費動向予想」によると、不況で節約志向が強まる中、口コミやインターネットなどの評判がこれまで以上に財布のひもを緩めるきっかけになりそうという。同社は「ヒョーバン消費」と名付け、「収入が減り、買い物で失敗したくない心理が働いている」とみる。

不況の影響は通販業界でも深刻だが、調査では83%が「09年に、評判を聞いて思わず買ったものがある」と答え、うち83%が手に入れた商品に「評判通り」と満足していた。

さらに「買ったものを既に人に勧めた」と「これから勧める」は計79%に。「どこで評判を知ったか」（複数回答）は、「直接、人から」が46%と最多で、テレビ27%、ネットの口コミサイト25%-と続き、メディア情報に加え、人の評判が消費の強い動機になっていることがうかがえた。

同研究所は「価格や品質など、消費者が商品を厳選する志向が強まっているが、情報があふれているので世間の評判が重要な物差しになるのだろう。商品にニュース性や話題性が求められ、売り手にはますます難しい時代」と話している。

通販では実際に手にとって商品を見るのが難しいため、口コミは大きな力となる。レビューを書くことでポイントが得られるなど、書き込みをしやすい環境も整っている。

一方、リアル店舗では店側からのおすすめはあっても買った人の声を紹介しているところはまだ少ないと思う。より自分に近い立場のコメントがあれば、通販以外のリアル店舗でも口コミの力が大きく働くのではないか。

2) 「コンビニフードのプラスα」

昨年11月に発売された「おでんつゆに入れるコラーゲン」が関心を集めるローソンだが、今月5日から新たにおでんつゆに溶かす「カレーうどんの素」の販売を始めた。

おでんの具であるさぬきうどんはもちろん、他のおでんダネとも相性が良く”カレーおでん”としてもイケるスパイシーでホットなアイテムだ。

コラーゲンが予想の 1.5 倍の売り上げという人気ぶり。女性のココロを捉えたコラーゲンに続き、ダシが効いたおでんつゆとベストマッチする「カレーうどんの素」が変わり種おでんの新アイテムとして寒い冬に人気を集めそうだ。

コンビニの定番フードとも言えるおでんは、毎年つゆのアップグレードなどがされ常に改善が行われているが、こうした「後入れ」によって味の変化を楽しむというのがおもしろい発想だと思う。昨年ブレイクした「ご飯のおとも」といった類や無印良品から発売されているフレーバーポテトチップス/ポップコーン（味のついていないポテトチップスと一緒に数種類ある好みのフレーバーを購入する）など、“選べる後から味付け”というスタイルが今後さらに増えていくのではないだろうか。

3) 「ペットのオーガニックフード」

落ち着いた感のあるペットブームだが、愛犬といつまでも長く健康的に暮らしたいという思いは飼い主の変わらない願いだろう。

そんな中、愛犬のためのオーガニック・ドッグフードを販売するのが株式会社ライトハウスだ。同社が販売する「SOLVIDA（ソルビダ）」はオーガニックチキンを主原料に、オーガニック野菜やハーブなどをふんだんに使用して作られた愛犬のための総合栄養食で、最新のペット栄養学に基づいた理想的な栄養を愛犬に提供するとうたわれている。

人間の食事顔負けの徹底したこだわりや、美味しさを訴求するパッケージで売場でも目を引く商品になっており、オーガニックについて詳しく書かれたハンドブックも共に設置されている。

大切な”我が子”により良い素材でより良いフードを求める飼い主の願いに応えるため、ペット栄養学などの研究・開発はますます進み、ドッグフードは大きく進化しているようだ。

一見するとまるで我々が食べる食品のようなビジュアルで、作り手のペットに対する思いが伝わってくる商品だ。スーパーでペットフードを「食品」としては扱うところを見たことはないが、同社はペットショップ内にまるで食品スーパーの一部のようにコーナー展開しており、「それを食べる犬」ではなく「人間のココロ」に届く魅せ方が非常に興味深い。